

2012年12月18日

住友生命保険相互会社

<第23回>

2012年の世相を反映した

『創作四字熟語』50編

住友生命保険相互会社（社長 佐藤義雄）は、2012年の世相を的確に表現した『創作四字熟語』を広く一般から募集しました。

この企画が生まれたのは、今から22年前。1年の出来事を漢字四文字で振り返るという、いわば『ことばの遊び』を提唱したところ、多くの人々の共感を呼び、“その年に感じたことを漢字に託す”という全く新しい概念が誕生しました。

23回目を迎える今回は、全国から11,138作品が寄せられました。

以下は、ご応募いただいた作品についての集計と審査結果です。

〔募集概要〕

- 募集期間 2012年9月25日～11月5日
- 有効作品数 11,138作品
- 募集地域 全国（47都道府県）
- 募集方法 ハガキ、当社規定の応募用紙、インターネット、携帯電話による応募。
記入事項は、未発表の作品およびその読み方、元のことばと簡単な説明。
- 審査員 俵 万智 氏（歌人）
- 作品応募者の内訳（複数回答）

全 体	男性	女性	不明	～10代	20代	30代	40代	50代	60代～	不明
11,138	8,665	2,470	3	216	755	1,788	2,546	2,658	3,156	19
100.0	77.8	22.2	0.03	1.9	6.8	16.1	22.9	23.9	28.3	0.2

上段＝作品数、下段＝構成比（％）

〔作品傾向〕

- 応募作品の内容（ジャンル別）
 - 1) 政 治 （衆議院解散に向けた動き、消費税増税、第三極など） 3,262作品(29.3%)
 - 2) 経 済 （年金消失問題、電気料金値上げ、格安航空など） 584作品(5.2%)
 - 3) 社 会 （ノーベル賞受賞、金環日食、東京スカイツリー開業など） 2,743作品(24.6%)
 - 4) 国際情勢 （日中関係、日韓関係、火星探査機など） 1,876作品(16.8%)
 - 5) 文化・スポーツ （ロンドン五輪、野球、大相撲、落語など） 1,861作品(16.7%)
 - 6) 流行・芸能 （朝ドラ、ヒット商品、人気芸人など） 812作品(7.3%)

〔今年の傾向〕

ついに決まった消費税増税、突然の「近いうち解散」に政局は右往左往

今年最も関心を集めたテーマは「政治」（29.3%）でした。

年明け早々、野田改造内閣が発足。「社会保障と税の一体改革」を掲げるも、「**税途多難**」の消費税増税をめぐる離党者は「**党奔政争**」、支持率に影響しました。そんな中、野田総理は「**確欠近々**」の衆院解散と引き換えに、悲願の法案成立を果たしました。

「近いうち」とはいったいつなのか？その言葉が流行語になった頃、突然解散が断行されます。選挙に向け、自民党は「**晋帰一転**」で政権奪還を図り、第三極も、都知事辞任・国政復帰宣言で「**興味慎慎**」の石原慎太郎氏が「**維新揚揚**」に合流するなど、動きが加速していきました。選挙は、最高裁から指摘を受けた「**過大票差**」の是正は間に合わず、違憲状態のままで実施されました。来年は、トップのリーダーシップのもと、人々が安心して暮らせる社会の実現を期待します。

解決の糸口が見えない外交問題、日本経済にも影響

昨年の応募数から大幅にアップしたのが、「国際情勢」（16.8%）です。韓国大統領・ロシア首相の竹島・北方領土上陸や、尖閣諸島の国有化を発端とした中国の「**船船境航**」など、まさに「**島々発止**」の一年でした。特に、中国各地で多発した反日デモは、日本の企業活動や経済に大きな打撃を与えています。

長引く景気低迷の中、人々に追い討ちをかけたのが、年金の「**運産霧消**」や「**電値上昇**」です。節電生活に慣れてきたとはいえ、夏の酷暑を「**肝臓断念**」で乗り切るのはあまりに厳しく、「せめて土用の丑の日くらいは！」という想いも「**無理鰻代**」の状態でした。地上で値上げがすすむ一方、空では国内の格安航空が相次いで就航し、新たな「**安価航路**」になりました。

エネルギー問題に、秋田から朗報です！国内初、シェールオイルの「**油岩採滴**」に成功。実用化への課題はありますが、次世代資源への期待が高まっています。

世界中が夢中になったスポーツの祭典、史上最多のメダルが輝く

不安定な国際情勢ではありましたが、スポーツの祭典であるロンドン五輪では、世界中の人が感動と興奮を共有しました。日本選手団の活躍も目覚ましく、個人競技では、柔道の松本薫選手が日本人第1号の金メダリストに輝くと、体操男子個人総合の「**航平夢至**」や、男子ボクシング、レスリングでも次々と金メダルを獲得しました。なかでも、「**史嬢最強**」の吉田沙保里選手はその

後、世界大会13連覇を達成し、国民栄誉賞に輝きました。また、団体戦ではチームの結束力が光り、「**共存競泳**」をはじめ、サッカーやバレーボール、「**三連卓勝**」に「**三矢一体**」、「**騎士回生**」で、多くの選手が大活躍！獲得メダル数は、なんと「**史上彩多**」の38個を記録しました。

一方、「**判定懐疑**」や無気力試合は波紋をよび、審判の技術や試合方式に課題を残しました。次回は、選手が安心してプレーできる大会になるといいですね。そのころには、「**駆猫騒動**」のあの選手も、五輪出場の夢を叶えられるのでしょうか？

スポーツ選手の活躍は、ロンドン五輪だけではありません。野球では、ダルビッシュ有投手が米大リーグ日本人新人最多の16勝を挙げる「**有往米伸**」ぶり、日米のジャイアンツが「**巨軍奮闘**」でそろって優勝、高校野球では大阪桐蔭高校が春・夏の甲子園と秋の国体を制し、まさに「**春夏秋桐**」を達成しました。テニスでは錦織圭選手がツアー通算2勝目で「**錦織大成**」し、角界では第70代横綱「**切磋日馬**」が誕生。今後のさらなる躍進が期待されています。

金環日食に大歓声、世界一のスカイツリーが開業

今年天文現象の当たり年。“世紀の天体ショー”では、「**金環仰上**」した人も多いのではないのでしょうか？当日は、日食専用グラスを持った「**衆金環視**」の姿が多く見られ、リング状の太陽に歓声が沸き起こりました。

昨年まで見上げてばかりだった東京スカイツリー。とうとう、「**威風堂塔**」の開業です！“天望デッキ”からの眺めをひと目見ようと、人々が行列を作り、「**鉄塔待日**」の毎日です。また、同じく東京で新たな観光スポットが誕生しました。赤レンガ駅舎が大正期の威容を「**復駅呈舎**」し、多くの人々が訪れ、賑わいを増しています。復元・修復といえ、スペインの教会で起こった「**美画悲惨**」事件も大きな話題になりました。原画のおもかげを残さないキリスト画が、なぜあのような人気に？芸術とは、難しいものですね。

消費低迷でも売れてます！“ヒット商品”、ワイルドなあの人も大ブレイク

今年のヒット商品と言えば、「**麴利用食**」ブームの塩麴や、生麴のような味と食感を誇る「**袋麴繁売**」、そして、「**林檎秀産**」のタブレット型多機能端末やスマートフォンです。日々進化するITですが、偽アプリやパソコンでの「**遠隔操詐**」には気をつけたいものです。

街では、「**独唱三味**」の専門店が大人気に。ストレス発散だけではなく、歌や振り付けの練習にも活用されています。忘年会のカラオケも、今年はレベルアップしているかもしれません。

芸能界に目を向けると、連続テレビ小説「梅ちゃん先生」が「**観梅御礼**」の高視聴率。朝から癒しを与えてくれました。人気テレビ番組にひっぱりだこだったのは、お笑いタレントの

「**野性自慢**」でしょう！「ワイルドだろお」の台詞を聞かない日はありません。また、「**詞極当然**」の体操も大人気に。あたりまえのことなのに、どうして笑ってしまうのでしょうか。

映画では、「テルマエ・ロマエ」が興行収入50億円突破の大ヒット！主演の阿部寛さんには、銭湯50年無料券がプレゼントされたとか。「**皇風呂好**」にはたまりません。

落語界の桂三枝さんは、大名跡「桂文枝」6代目を「**三枝襲名**」されました。さらに磨きのかかった話芸を、楽しみにしています！

万能細胞にノーベル賞、再生医療に明るい未来を！

海外では、「**粒粒神功**」の研究が実を結び、世界の物理学者が追い求めたヒッグス粒子らしきものが発見され、大騒ぎになりました。賞賛される研究の一方、失敗するととんでもない事態に……。イタリアでは、地震の予知・警告が被害拡大を招いたとして、科学者らに有罪判決が下りました。これには、「いくら優秀な学者が集まっても萎縮して「**自信欠会**」になりかねない」と、批判が殺到しています。

さて、そんな学者たちの育成の場に変化が。東京大学が、秋入学の全面移行を「**再考学府**」。国際化に向けた大きな教育改革が、今まさに始まろうとしています。

今年の最も大きなニュースは、ノーベル医学生理学賞受賞でしょう！人工多能性幹（iPS）細胞の開発をした京都大学の山中伸弥教授に、日本中が「**伸弥万称**」しました。一日も早い実現化で、より多くの命が救えますように——。「**待望医療**」が切り拓く新たな未来は、もう目の前に迫っています。

以上

◆◇◆ 優秀作品 10 編 ◆◇◆

(敬称略・順不同)

ぜいとたなん
税途多難
(前途多難)

消費増税や復興税の使途により政治混乱。

神奈川県・井戸畑 美穂 (37 歳)

とうほんせいそう
党奔政争
(東奔西走)

まとまりのない政界。

群馬県・山中 幸子 (39 歳) 神奈川県・佐藤 隆子 (72 歳)
山形県・玉木 睦 (76 歳) 北海道・太田 博 (51 歳)

あなかこうろ
安価航路
(「暗夜行路」)

日本の国内線にも、格安航空会社が相次いで参入。

新潟県・橋立 英樹 (45 歳) 埼玉県・三矢 宗久 (63 歳)
秋田県・佐藤 和広 (54 歳)

しんやばんしょう
伸弥万称
(森羅万象)

山中伸弥氏、「ノーベル医学生理学賞」を受賞。皆が称えた。

東京都・中村 哲也 (51 歳)

しゅうきんかんし
衆金環視
(衆人環視)

日本中の人々が金環日食を見た。

東京都・安部 紗菜子 (27 歳)

びがひさん
美画悲惨
(自画自賛)

スペインで、自称画家がキリストのフレスコ画を修復。残念な姿に。

愛媛県・森内 国宏 (41 歳)

せんせんきょうこう
船船境航
(戦戦兢兢)

尖閣諸島周辺を中国船が連日のように航行。

青森県・池田 毅 (59 歳)

きょうそんきょうえい
共存競泳
(共存共栄)

ロンドン五輪での日本競泳陣のがんばり。

京都府・堀井 弘 (52 歳) 宮城県・武田 悟 (54 歳)
北海道・山重 真一 (57 歳) 東京都・上田 直 (49 歳)
大阪府・中西 英行 (40 歳)

せつさはるま
切磋日馬
(切磋琢磨)

日馬富士関、努力・精進してついに横綱に。

神奈川県・齋藤 浩 (51 歳)

こうじりょうしよく
麴利用食
(公序良俗)

塩麴ブーム。

大阪府・上田 繁樹 (40 歳)

◆◆◆ 入選作品40編 ◆◆◆

	創作四字熟語	意味・作者 (敬称略・順不同)	元のことば
政	晋帰一転 しんきいってん	安倍晋三氏が自民党総裁に再チャレンジ。 東京都・中村 哲也 (51歳)	心機一転
	興味慎慎 きょうみしんしん	突然の都知事辞職と国政復帰。石原慎太郎氏に興味は尽きない。 東京都・牧元 真希子 (46歳)	興味津津
	維新揚揚 いしんようよう	「日本維新の会」が発足。 千葉県・櫻庭 勝美 (64歳)	意気揚揚
治	過大票差 かだいひょうさ	一票の格差、参院選も「違憲状態」判決。 神奈川県・山口 則彦 (46歳)	過大評価
	確欠近々 かくかくちかぢか	野田首相の「近いうち」解散発言。 新潟県・橋立 英樹 (45歳)	斯々然々
経 済	運産霧消 うんさんむしょう	AIJ年金消失事件。 東京都・山本 桂子 (49歳)	雲散霧消
	無理鰻代 むりまんだい	うなぎ高騰。庶民には高嶺の花に。 東京都・中村 哲也 (51歳)	無理難題
	電値上昇 でんちじょうしょう	電気料金の値上げ。 三重県・山岡 裕喜 (34歳)	天地創造
社 会	待望医療 たいぼういりょう	山中伸弥氏、iPS細胞の開発により、再生医療実現の道を開いた。 静岡県・野田 行男 (84歳)	細胞医療
	遠隔操詐 えんかくそうさ	パソコン遠隔操作事件。 石川県・田川 勝 (36歳) 神奈川県・山口 則彦 (46歳)	遠隔操作
	金環仰上 きんかんぎょうじょう	たくさんの人が金環日食を見上げた。 愛知県・渡辺 幸音 (10歳) 東京都・川島 基 (44歳)	金科玉条
	鉄塔待日 てつとうまつひ	東京スカイツリー、大混雑。入場予約が殺到。 京都府・津知 洋介 (34歳)	徹頭徹尾
	威風堂堂 いふうどうどう	東京スカイツリーが開業した。 長野県・住澤 直樹 (33歳) 千葉県・田牧 敏男 (66歳)	威風堂堂
	復駅呈舎 ふくえきていしゃ	東京駅丸の内駅舎が、保存・復元工事を終えて全面開業。 神奈川県・吉野 健司 (57歳)	各駅停車

◆◇◆ 入選作品40編 ◆◇◆

	創作四字熟語	意味・作者 (敬称略・順不同)	元のことば
社 会	再考学府 さいこうがくふ	東京大学等、秋入学の全面移行を検討。 北海道・寺田 昭夫 (67 歳)	最高学府
	粒粒神功 りゅうりゅうしんく	「神の粒子」とよばれるヒッグス粒子、発見か?! 大阪府・花等 佐江子 (51 歳)	粒粒辛苦
	肝臓断念 レバーギブアップ	生食用の牛レバーの販売・提供が禁止された。 東京都・山本 桂子 (49 歳)	ネバーギブアップ
	油岩採滴 ゆがんさいてき	国内初、秋田でシェールオイルの採取成功。 愛知県・菊入 元久 (76 歳)	油断大敵
国 際 情 勢	島々発止 とうとうはっし	竹島・北方領土・尖閣諸島など、大変な一年でした。 静岡県・吉川 隆義 (58 歳)	丁々発止
	自信欠会 じしんかくかい	イタリア、地震予知で科学者らに有罪判決。 兵庫県・東元 正臣 (72 歳)	地震学・会
文 化 ・ ス ポ ー ツ	史上彩多 しじょうさいた	ロンドン五輪、メダル獲得総数は過去最多。 北海道・平松 泰輔 (38 歳)	史上最多
	三矢一体 さんしいったい	ロンドン五輪、アーチェリー女子団体に、3人娘が銅メダル。 愛知県・小嶋 正信 (52 歳)	三位一体
	判定懷疑 はんていかいぎ	ロンドン五輪では、審判の判定が物議を醸した。 北海道・高橋 多美子 (51 歳)	判定会議
	航平夢至 こうへいむし	内村航平選手、体操男子個人総合で、夢の五輪金メダルを獲得! 兵庫県・田中 忠男 (47 歳)	公平無私
	三連卓勝 さんれんたくしょう	卓球女子団体、五輪日本卓球史上初の銀メダルを獲得。 京都府・鈴木 かおり (50 歳)	一蓮托生
	史嬢最強 しじょうさいきょう	レスリングの吉田沙保里選手、世界大会13連覇を達成。 北海道・山重 真一 (57 歳)	史上最強
	騎士回生 きしかいせい	ロンドン五輪フェンシングで、太田雄貴選手が残り1秒から逆転勝利。 大阪府・松原 敬二 (42 歳)	起死回生
	錦織大成 きんしよくたいせい	テニスの錦織圭選手、有明コロシアムにて2度目のツアー優勝。 大阪府・原 隼 (74 歳)	緊縮財政

◆◆◆ 入選作品40編 ◆◆◆

	創作四字熟語	意味・作者 (敬称略・順不同)	元のことば
文 化 ・ ス ポ ー ツ	駆猫騒動 かけねこそうどう	猫ひろしさん、ロンドン五輪出場ならず。 東京都・中村 哲也 (51歳)	化猫騒動
	三枝襲名 さんししゅうめい	桂三枝さんが、六代目「桂文枝」を襲名。 愛知県・古川 明夫 (64歳) 千葉県・田牧 敏男 (66歳) 長野県・小林 光二 (62歳) 福島県・横山 智子 (51歳) 京都府・沢田 純奈 (18歳) 福岡県・上田 哲次 (62歳)	山紫水明
	有往米伸 ゆうおうまいしん	米大リーグ・レンジャーズで大活躍の、ダルビッシュ有投手。 神奈川県・大森 俊二 (79歳)	勇往邁進
	巨軍奮闘 きょぐんふんどう	日米のジャイアンツが共に優勝。 神奈川県・青沼 仁 (39歳)	孤軍奮闘
	春夏秋冬 しゅんかしゅうどう	大阪桐蔭高校が三冠達成。甲子園の春夏連覇に続き、秋の国体も制した。 愛知県・古川 明夫 (64歳)	春夏秋冬
流 行 ・ 芸	独唱三昧 どくしょうざんまい	ひとりカラオケ。若い世代に人気。 京都府・吉岡 正博 (56歳)	読書三昧
	皇風呂好 おうふろすき	映画「テルマエ・ロマエ」が大ヒット。古代ローマ皇帝はお風呂好き？ 東京都・中村 哲也 (51歳)	大風呂敷
	詞極当然 しごくとうぜん	あたりまえなことを体操にしてみました。 東京都・中村 哲也 (51歳)	至極当然
能	林檎秀産 りんごしゅうさん	米アップルが「iPhone」などの新しい機器を発売。 山形県・島田 真陽瑠 (15歳)	離合集散
	袋麺繁売 たいめんはんばい	生麺の食感に近いインスタントラーメンが大ヒット。 千葉県・本郷 修 (52歳)	対面販売
	野性自慢 やせいじまん	お笑い芸人スギちゃんの“ワイルド自慢”。 東京都・中村 哲也 (51歳)	痩せ我慢
	観梅御礼 かんばいおんれい	大好評でした、「梅ちゃん先生」！ 神奈川県・木本 英男 (51歳)	完売御礼

審査員コメント

俵 万智 (歌人)

今年も、この季節がやってきたなと感じます。創作四字熟語は、年末の風物詩。漢字の持つ伝達力、四字熟語の文化、そこに遊び心が加わって、一年を象徴するたくさんの力作が寄せられました。

政治的には、前途多難で「ぜいとたなん税途多難」。途とが使途せいに掛けられているところが巧みです。選挙は、まさに「とうほんせいそう党奔政争」。同音意義の使い方が効果的ですね。LCCの参入で「あんかこうろ安価航路」。わかりやすくストレートに飛び込んでくる四字熟語です。明るい話題は「しんやばんしょう伸弥万称」。伸弥という名前の使い方が面白い。「しゅうきんかんし衆金環視」は、金環という語の入れ方が新鮮です。元の四字熟語の意味とも響きあっています。「びがひさん美画悲惨」、ご本人は自画自賛というわけではなさそうですが…たった四文字で珍事件が伝わります。「せんせんきょうこう船船境航」は、戦々恐々となってはほしくない事柄。オリンピック関連では、日本チームの絆を簡潔に表現した「きょうそんきょうえい共存競泳」が印象に残りました。「せつきはるま切磋日馬」…新横綱には、いっそうがんばっていただきたい。表現の新機軸は、「こうじりようしょく翹利用食」。句またがりの音の運びが斬新でした。

参考資料 「創作四字熟語」 2012年の出来事 一覧

月	主 な 出 来 事	作 品 例
1	●東京大学が秋入学の全面移行構想を発表	再考学府 (さいこうがくふ)
2	●A I J 投資顧問が受託年金を消失。金融庁が業務停止命令	運産霧消 (うんさんむしょう)
3	●格安航空会社のピーチ・アビエーションが国内路線に初参入 ●養殖ウナギの稚魚が不漁で取引価格高騰。水産庁が対策会議	安価航路 (あなかこうろ) 無理鰻代 (むりまんたい)
4	●東京電力が企業向け料金を値上げ。“一斉”は断念	電値上昇 (でんちじょうしょう)
5	●猫ひろしさんの五輪消滅。国際陸上競技連盟が資格なしと判断 ●世紀の天体ショー、金環日食に各地で歓声 ●東京スカイツリーが開業。高さ634メートルで、世界一	駆猫騒動 (かけねこそうどう) 金環仰上 (きんかんぎょうじょう) 衆金環視 (しゅうきんかんし) 鉄塔待日 (てつとうまつひ) 威風堂塔 (いふうどうとう)
6	●映画「テルマエ・ロマエ」、興行収入50億円突破の大ヒット ●全国で“ひとりカラオケ”ブーム。専門店が首都圏に続々オープン	皇風呂好 (おうふろすき) 独唱三昧 (どくしょうざんまい)
7	●牛の生レバーの提供・販売を禁止。食品衛生法 ●民主党の小沢一郎元代表ら52人が離党、新党結成へ ●欧州合同原子核研究所が“ヒッグス粒子”と見られる新粒子を発見 ●落語家の桂三枝さんが上方落語の大名跡「桂文枝」六代目を襲名 ●「COWCOW あたりまえ体操」のDVDが発売	肝臓断念 (レバーギブアップ) 党奔政争 (とうほんせいそう) 粒粒神功 (りゅうりゅうしんく) 三枝襲名 (さんししゅうめい) 詞極当然 (しごくとうぜん)
	●ロンドン五輪開幕。競泳陣が大活躍 ・アーチェリー女子団体が銅メダル。女子および団体が初のメダル獲得 ・柔道の審判委員 (ジュリー) 制度に波紋	共存競泳 (きょうそんきょうえい) 三矢一体 (さんしいったい) 判定懐疑 (はんていかいぎ)
8	・体操の男子個人総合で内村航平が金メダル。体操個人で28年ぶり ・フェンシング男子フルーレ団体の準決勝で、奇跡の逆転劇 ・卓球女子団体が銀。日本卓球界初のメダル獲得 ●ロンドン五輪閉幕。メダル獲得数は、史上最多の38個に ●野田首相、自民・公明両党との党首会談で「近いうちに解散」と発言 ●韓国の李明博大統領が竹島に上陸 ●スペインの修復キリスト画が世界中で話題に	航平夢至 (こうへいむし) 騎士回生 (きしかいせい) 三連卓勝 (さんれんたくしょう) 史上彩多 (しじょうさいた)
9	●「iPhone 5」発売開始 ●米大リーグで、ダルビッシュ有投手が日本人ルーキー最多の16勝 ●第70代横綱日馬富士が誕生 ●自民党、新総裁に安倍晋三元首相を選出 ●日本維新の会、政党設立の届け出 ●女子レスリングの吉田沙保里選手が13大会連続世界一に ●NHKの朝ドラ、「梅ちゃん先生」が放送終了。平均視聴率20%超	林檎秀産 (りんごしゅうさん) 有往米伸 (ゆうおうまいしん) 切磋日馬 (せつさはるま) 晋帰一転 (しんきいつてん) 維新揚揚 (いしんようよう) 史嬢最強 (しじょうさいきょう) 観梅御礼 (かんばいおんれい)
10	●JR東京駅、復元工事を終え全面開業。創建時の赤れんが駅舎がお目見え ●秋田県で、シェールオイル試験採取に成功。国内初 ●ぎふ清流国体で、甲子園春夏連覇の大阪桐蔭高校が優勝。三冠達成 ●男子テニスの錦織圭選手がツアー通算2勝目 ●山中伸弥京都大学教授にノーベル医学生理学賞。iPS細胞の開発で ●一票の格差、2010年7月の参議院選挙は“違憲状態”。最高裁判決 ●地震の“安全宣言”をめぐる、イタリアの学者らに実刑判決 ●石原慎太郎氏が東京都知事辞任を表明。国政に復帰	復駅舎 (ふくえきていしゃ) 油岩採滴 (ゆがんさいてき) 春夏秋桐 (しゅんかしゅうとう) 錦織大成 (きんしょくたいせい) 待望医療 (たいぼういりょう) 伸弥万称 (しんやばんしょう) 過大票差 (かだいひょうさ) 自信欠会 (じしんかくかい) 興味慎慎 (きょうみしんしん)
11	●「ヒット商品ベスト30 (日経トレンドイ)」で“塩こうじ”が11位に ●巨人が3年ぶり22度目の日本一に ●「マルちゃん正麺」、発売1年で2億食突破 ●尖閣諸島周辺を中国船が航行 ●パソコン遠隔操作事件、警察庁が懸賞金検討へ ●復興予算の新基準を決定。被災地の事業に限定する方針	麴利用食 (こうじりょうしょく) 巨軍奮闘 (きょぐんふんとう) 袋麵繁売 (たいめんはんばい) 船船境航 (せんせんきょうこう) 遠隔操詐 (えんかくそうさ) 稅途多難 (ぜいとたなん)
12	●お笑い芸人スギちゃんの「ワイルドだろお」が、新語・流行語大賞に	野生自慢 (やせいじまん)